

議事録確認書

令和元年 7 月 2 日

網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会
委員長 吉田穂積様

令和元年6月17日（月）に開催された「第1回網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会」の議事録について、内容に相違ないことを確認しましたので署名します。

網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会

署名委員 石川康弘



署名委員 井上範一



網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会

(第1回議事録)

開催日：令和元年6月17日(月)

時間：午後4時00分～5時00分

場所：網走市役所本庁舎3階会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

- ・本委員会は、新庁舎の建設に係る構想・計画などの各事項等について審議をする為に設置したものであり、それぞれの立場と様々な視点から意見や提言を出し合う場であると考えている。
- ・平成25年に国の耐震改修促進法の改正により、大規模施設の耐震診断及び耐震結果の報告が義務化され、市役所本庁舎のほか、4施設の耐震診断を実施した。その結果、全ての施設が耐震診断の基準を満たしていないことが判明。
- ・庁内に公共施設耐震化等対策室を設置し、市としての耐震化対策の方向性は「市庁舎の建て替えを最優先に考える」「建設候補地は、金市舘ビル跡地周辺敷地が好ましい」という2点であることを示した。現在、この方向性について、各地区や各団体での説明会を開催しながら、広く市民周知を行っている。
- ・新庁舎の建設にあたっては、人口減少・少子高齢化の進展、中心市街地の活性化、まちの将来像、財政面など様々な観点から検討し、総合的な判断が必要であり、財政的な負担も軽減させることも重要と考えている。
- ・国が庁舎建設費の約2割を負担する「市町村役場機能緊急保全事業」という、財政的支援事業を設け、この制度を活用して財政負担を軽減したいが、この事業の対象となるには、「2020年度までに実施設計に着手する」ことが必須の要件となっており、時間的な制約がある。

4 委員及び事務局など紹介

・出席委員の紹介

市民公募 石川康弘 委員
網走市観光協会 専務理事 井上範一 委員
網走市身体障害者福祉協会 会長 井上義則 委員
市民公募 大内俊郎 委員
網走バス株式会社 代表取締役 小澤友基隆 委員
市民公募 加藤智子 委員
網走医師会 会長 金川有一 委員
網走商工会議所 会頭 北村讓二 委員
網走市町内会連合会 会長 黒田幸市 委員
網走市文化連盟 会長 後藤田生子 委員
北海道建築士会網走支部 支部長 塩川顕児 委員
網走市社会福祉協議会 会長 神内義光 委員
オホーツクキャリアデザインネットワーク 会長 新谷静代 委員
西網走漁業協同組合 代表理事組合長 清野一幸 委員
網走信用金庫 理事長 伴 道弘 委員
網走消費者協会 会長 本間公三 委員
網走市スポーツ協会 会長 前田敏彦 委員
網走地区消防組合消防団 団長 松井丈 委員
市民公募 水澤克浩 委員
東京農業大学生物産業学部 学部長 吉田穂積 委員

・欠席委員の紹介

オホーツク網走農業協同組合 代表組合長理事 岡本一男 委員
網走漁業協同組合 代表組合長理事 新谷哲也 委員
市民公募 北野貴丸 委員
連合北海道網走地区連合会 会長代行 結城慎二 委員

・出席予定委員の紹介

網走青年団体連合会 代表 長井寿公 委員

・事務局の紹介

庁舎整備推進室長 後藤観光商工部長
庁舎整備推進室参事 日野企画総務部参事
庁舎整備推進室参事 北村企画調整課長
庁舎整備推進室主査 遠藤企画調整課主査

出席していないが、

庁舎整備推進室次長 岩永企画総務部長、佐々木建設港湾部長
庁舎整備推進室参事 古田財政課長、秋葉商工労働課長、小原建築課長、立花
都市整備課長が兼務

・「網走市新庁舎建設基本構想策定支援業務」の受託業者の紹介

株式会社ドーコン 執行役員 都市・地域事業本部担当 北條明秀氏
株式会社ドーコン 建築都市部 技師長 齊藤文彦氏
株式会社ドーコン 建築都市部 主任技師 吉田貴子氏

5 議 事

(1) 委員長及び副委員長の選出

- ・委員長・副委員長の選出は、委員の互選により選出し、委員長が議長となる。
また、副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- ・委員長・副委員長が選出されるまでの間、水谷市長が仮議長として進める。
- ・委員の提案により、委員長選出は事務局より案を提出する。
- ・事務局案は、吉田委員を推薦。委員の賛同により吉田委員が委員長に決定。
- ・副委員長は委員長の指名により北村委員に決定。

(2) 網走市新庁舎建設基本構想策定の諮問

- ・水谷市長から吉田委員長に、諮問書を提出。

(3) 網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会について

- ・事務局より資料1号の説明。
- ・網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会設置要綱に基づき設置する。
- ・所掌事務について、基本構想策定に関する事項とその他新庁舎建設に関し必要な事項となっており、この事項について、委員会は協議及び検討する。
- ・検討委員会は、市長からの「新庁舎建設基本構想策定」の諮問に応じて、基本構想についての審議・意見具申を行う組織という位置付け。
- ・組織、委員の任期、委員長及び副委員長について説明。
- ・委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となり、委員の過半数が出席しなければ開催できない。
- ・「出席できない」やむを得ない場合は代理出席を認め、会議の過半数の出席人数には数えない。
- ・原則会議は公開となる。
- ・会議の議事録は、会議の音声の記録、発言要旨を整理し、1回の会議につき2名の委員に議事内容等を確認・署名をしてもらう。
- ・本日の第1回目の検討委員会の議事録確認者は、石川康弘委員、井上範一委員にお願いする。
- ・質疑なし。

(4) 新庁舎建設に向けた取組について

- ・事務局より資料2号の説明。
- ・新庁舎建設に至る経過、建設候補地の考え方、新庁舎建設までのスケジュールについての説明。
- ・網走市では、市役所本庁舎と総合体育館、市役所西庁舎、市民会館、消防本部庁舎の耐震診断を実施したが、その結果、いずれの施設も耐震基準数値を満たしていないことが判明した。
- ・改修額と、各施設の耐用年数から、耐震改修を含む大規模改修は適当でないと判断した。
- ・全施設を建替えることは、困難である為、優先度を決め、「残された耐用年数」「施設の主な機能」「代替施設の有無」観点から総合的に判断し、市庁舎の建替えを最優先で考える。
- ・5つの建設候補地を「関連計画と周辺環境」「利便性と交通体系」「防災拠点としての安全性と機能性」「経済性と実現性」の項目で評価した結果、「金市

館ビル跡地周辺敷地が好ましい」と判断した。

- ・国は、熊本地震の教訓から、庁舎建設費の約2割を国が負担する「市町村役場機能緊急保全事業」という、財政的支援事業を設け、これを活用して市の財政負担を軽減したい。
- ・現在の本庁舎と西庁舎の床面積の合計は約7,000㎡で、「現時点での建築単価70万円/㎡と仮定すると、建物の建設費は約50億円程度と見込まれる。国の財政支援20%程度の約10億円を除くと、約40億円程度が網走市の負担となる。
- ・国の支援制度を活用するには、2019年度から1年半程度で「新庁舎建設基本構想」を策定し、次に、2020年9月から2022年3月までに「基本設計・実施設計」に取組み、2022年度から新庁舎建設に着手というのが、大まかなスケジュール。
- ・質疑なし。

(5) 今後の進め方について

- ・事務局より資料3号の説明。
- ・検討委員会は、本日を含め、7月下旬、9月上旬、11月上旬、4月下旬、6月下旬の全部で6回を基本に開催する予定。
- ・11月～1月までの間に「市民アンケート」を実施し、新庁舎の規模や機能について、意見を聴取する。
- ・中学生・高校生などを対象とした「ワークショップ」を開催し、若い年齢層の意見等も聴取する予定。
- ・6回の検討委員会を経て、来年の6月末には、基本構想案をかため水谷市長に答申いただく。
- ・第2回の委員会では、構想編部分の各事項のたたき台案を提示する。
- ・第3回の委員会では、建設候補地となる敷地について決定させ、構想偏部分を概ね固める。
- ・第4回の委員会では、計画編部分の各項目のたたき台案を提示し、市民アンケートの内容やワークショップの開催内容について確認する。
- ・第5回の委員会では、市民アンケート・ワークショップの結果報告及び、新庁舎の規模も含めた計画編部分を概ね固める。
- ・第6回の委員会では、基本構想案を最終的に確認し、市長への答申方法について確認する。
- ・質疑なし。

(6) 次回の検討委員会開催について

- ・次回の検討委員会は7月22日(月)、7月24日(水)、7月26日(金)、7月29日(月)を開催候補日とし事前に日程調整を行う。
- ・開催時間は、4時からの予定。

(7) その他

金川委員より質疑

- ・今の市庁舎は壊すのか？
- ・金市館跡地は敷地形状がいびつで小さいので、現庁舎の場所が良いのではないか？

後藤室長より回答

- ・現庁舎は最終的には壊す予定。当面の間は公用車の駐車スペースとして使用予定。
- ・現庁舎・西庁舎は新庁舎建設後、使用しない予定。
- ・現庁舎の敷地に新庁舎を建設するには、先に現庁舎を壊すことになる。騒音の問題もあり、現庁舎を解体しながらの業務続行は困難である為、業務場所を別に探す必要が出てくる。